

八島ヶ原湿原 出会い紡ぐ緑の♡

諏訪市と下諏訪町にまたがる八島ヶ原湿原が、静岡市のNPO法人地域活性化支援センターが認定する「恋人の聖地」に選ばれた。県内では、立科町の白樺高



県内10カ所目の恋人の聖地となった八島ヶ原湿原（中央）。ハートの形をしている

「恋人の聖地」県内10カ所目認定

原国際スキー場山頂の「立科御泉水幸せの鐘」に次いで10カ所目。下諏訪町に5日、認定書と金属製の銘板が届いた。町によると、同湿原はミスゴケの種類が世界的にも豊富な高層湿原で、1939（昭和14）年に国が天然記念物に指定。湿原の形がハートに似ている特徴があることから、町民有志らでつくる委員会「出会い・婚活プロジェクト」が3月、恋人の聖地にすることを提案し、町が申請書を提出した。

諏訪地方では他に、諏訪市の中央道諏訪湖サービスイリア、茅野市の車山高原、富士見町のスキー場「富士見パノラマリゾート」が恋人の聖地に認定されている。同法人は、下諏訪町の熱心なまちづくりの取り組みや、4カ所の聖地が連携することで地域の活性化が望めるなどの理由から認定を決めたという。

町は今後、銘板の設置場所やPR方法を検討。青木悟町長は「若者の誘客や市街地の宿泊施設に観光客を呼び込むきっかけにしていきたい」と話していた。